



インスピレーションになるう

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

2018-2019年度 ガバナー 福田金治

2019.6 / vol. 12

国際ロータリー 第2740地区 ガバナー事務所

〒857-0055 長崎県佐世保市湊町2-8 石井ビル6F

TEL: 0956-37-2740 FAX: 0956-37-2741

E-mail: ri2740sasebo@eagle.ocn.ne.jp



第40回記念 RYLA (2019年4月20日出) 雲仙市

ガバナー ロータリー情報

ロータリーとは

佐藤千寿パストガバナーが講演会等で、もともとロータリークラブというものは、「仲間同士を助け合おう」「自分の町を住み良くしよう」という身近な問題から誕生したもので、「身を捨てて人類を救済しようなどという聖人の集まりではありません」と述べておられます。

また、儒教の経典『大学』の中に「修身、齐家、治国、平天下」という文章があります。

私なりにこの文章を解釈しますと、

- ①修身 … 自分の人格を高める
- ②齐家 … 健全な自分の家庭を築く
- ③治国 … 自分の住んでいる地域をよくする
- ④平天下 … 国の平和の為に努力する

になります。

このことをロータリーに当てはめると、「修身＝ロータリアン」、「齐家＝クラブ」、「治国＝地区」、「平天下＝国際ロータリー」になるのではないのでしょうか。

佐藤千寿パストガバナーのお考えと、『大学』の文章と、ロータリーの組織が一致していると思います。

ロータリーに入会しますと、同じクラブの会員、また、ロータリーの活動を通じて、多くの方々と知り合いになることにより、自分自身が人間としてロータリーに入会する以前より成長し、より良い人間になることができます。

自分がロータリーで経験したことが、「自分自身」「家庭」「地域社会」「国家」に対して、少しでも役立つようにすることが、「ロータリーの

活動目的ではないか」というのが私のロータリーに対する考え方です。

このことを実現するには、「例会」、「ロータリー行事」に積極的に出席することにより多くの経験をすることが必要です。

以上の考え方で、私は今後もロータリー活動を続けていこうと思っております。

CONTENTS

- IM開催報告 2
- RYLA開催のご報告 4
- ロータリー文庫通信 4
- 第2740地区の歴史 よもやま話 ～第3話～ 5
- 逝去会員、新会員紹介、寄付者紹介 6
- ハワイ短期留学プログラムご報告 7
- ハワイ短期留学プログラム現地での様子 8

第3グループIM開催報告

IM実行委員長 山口輝二郎（大町RC）

平成31年3月23日(土)、第3グループIMを大町クラブ・白石クラブの共催にて開催いたしました。

この時期は年度末、行楽シーズンとも重なり出席を心配しておりましたが、福田金治ガバナーをはじめ増本一也地区幹事、高原武彦パストガバナーのご来賓の方々に、ご多忙の中ご臨席いただき盛会に開催することができました。

来賓挨拶では福田ガバナーよりIMについてその意義・成り立ち等を詳しく解説いただき、会員は改めてその意味を確認したところです。

今回のIMでは『人生100年 未来の年表』（―あなたの医療、介護、年金、相続はこうなる！そしてロータリーは？）と題して共催クラブ・白石RC 山口繁喜会長（税理士）が、本業の知識を余すことなく講演され、その内容に各自に迫る現実を時には緊張し、時には安堵しながら聴き入りました。

業務多忙にもかかわらず、この日のために講演内容を編集、資料作成そして推敲いただいた山口会長に感謝いたします。

会場を移しての懇親会では、グループ内の全会員が一堂に会し、生バンドが奏でる懐かしのオールディーズの音楽をバックに、日頃のクラブでの出来事や話題、悩みなどをお酒を酌み交わしながら活発な会話で盛り上がり、興に乗ってのダンスやボーカルの飛び入り・・・親睦の深まる良い時間を会員皆で共有できました。

今回共催した大町クラブ及び白石クラブは合わせても18名の小さなクラブです。そのクラブが手作りのIMを夏過ぎから計画し、実施し、会員の相互理解が更に深まったことは言うまでもなく、第3グループの親睦の輪が広がったように思います。

今年度を最後に第3グループから白石クラブがなくなりますが、グループ内の会員皆さまのご協力により白石クラブと合同でIMが開催できたことに感謝いたします。



第5・第6グループ合同IM開催報告

第5グループ 平戸RC会長 渡邊 栄二

インターシティ・ミーティングテーマ

「ロータリーの魅力」

平成31年4月6日(土)、長崎県佐世保市江迎文化会館にて、第5・第6グループのインターシティ・ミーティングを、福田金治ガバナー、増本一也地区幹事をお迎えし、155名の登録のもと開催いたしました。

開会点鐘の後、福田ガバナーに祝辞をいただき、講演は2部制で最初は佐賀ロータリークラブの野口パストガバナーが「ロータリーって何?」というテーマで、ご自身の経験をもとにロータリーの魅力について講話され、ロータリーに入会した経緯とロータリーに入会して知り合った多くの友人の実名を交えながら話され、自分の人生で親睦が、いかに大事だったかを強く話されました。引き続き、(株)アスリンク代表取締役 高石様が「未来へ繋がる職業奉仕」のテーマで、ビジネスコミュニケーションの6つの成功要因について講話され、講演終了後、名刺交換をするロータリアンが多数おられました。

講演後の懇親会は会場を北松浦ロータリークラブの例会場でもあるサンパーク吉井に移し、乾杯から閉会まで野口パストガバナーの講話内容どおりの親睦が行われました。

今回ホストクラブとしてご尽力いただいた第6グループ森山ガバナー補佐、第5グループ山崎ガバナー補佐、並びに佐世保東南ロータリークラブ、平戸ロータリークラブの会員の皆様、お疲れ様でした。

皆様に感謝を申し上げ、ご報告とさせていただきます。ありがとうございました。



RYLA開催のご報告

日時／2019年4月20日(土)・21日(日)
会場／雲仙市小浜町諏訪の池湖畔 休暇村雲仙

RYLA実行委員長 **本多 進** (島原南RC)

毎年開催のRYLAも今年で40年目の節目を迎え「第40回記念RYLA テーマ：このRYLAが君を変える」といたしました。開催地が島原半島南部で交通アクセスも悪く、参加者が少ないのではないかと心配されました。危機感から第7と第8グループの各クラブ例会に訪問し、参加要請をいたしました。参加者は締め切り日が迫っても50名程の登録しかなく、開催できないのではないかと大変危惧いたしました。しかし、日増しに登録者が増加し150名余りのご参加をいただきました。これもひとえにロータリアンの皆さまのRYLAに対するご理解とご協力の賜物と深く感謝しております。しかし、問題点としてRYLAに対して毎年全く無関心で、参加者なしの数クラブが存在することも今後の課題です。

演題「学べば変わる」で上甲晃氏（松下政経塾元塾頭）に講演をいただきました。他人に必要とされる人間になるためには『人間力を上げる必要がある』とか『一人ひとりが人生の経営者である』『志を持って事に当たる大切さ』などと解りやすい話で、参加者は熱心にメモを取りながら聴講していました。講演の後、講師からグループ討議に「日本の将来」を出題してもらい、10名位に分かれて活発に討論されました。結果を各グループの代表者が発表し、人口減少、少子高齢化社会、将来の年金問題、過疎化など不安の意見が目立ちました。一方、日本の技術力を生かして世界に貢献などと前向きな意見も聞かれました。

RYLAの始まりはキャンプでスタートしたそうです。従って、今回のRYLAにはキャンプを取り入れ、夜はバーベキュー大会やキャンプファイヤーで賑わいました。

研修2日目は「島原半島南部の歴史を訪ねて」と貸し切りバス2台に80名が分乗して、キリシタン遺産記念館、世界遺産の原城、口之津民俗資料館をガイド付きで学んでもらいました。

わずか2日間でしたが、初めて出会う参加者と意見の交換を行いながら諸問題について討議し、指導力と伝達力を磨くことに貢献できたことと思います。参加した若者（ライラリアン）が、学校や職場で良きリーダーとして活躍してくれることを願うばかりです。

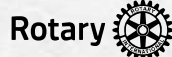


ロータリー文庫通信 (374号)

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

～ 古典文献の翻訳書より ～

書名	著者 / 出版社	発行年	ページ
ロータリーの理想と友愛 (THIS ROTARIAN AGE)	ポール P. ハリス著 米山梅吉訳	2007	295P
我が自叙伝 (THE HERBERT J. TAYLOR STORY)	ハーバート J. テーラー著 菅野多利雄訳	1990	219P
ロータリー・モザイク (ROTARY MOSAIC)	ハロルド T. トーマス著 松本兼二郎訳	2006	327P
ロータリー通解 (A TALKING KNOWLEDGE OF ROTARY)	ガイ・ガンディカー著 小堀憲助訳	1989	69P
ロータリー解析 (THE MEANING OF ROTARY)	ヴィヴィアン・カーター著 田中毅訳	1999	99P
シェルドン…忘れ得ぬその名 (SHELDON… A NAME TO REMEMBER)	ジョン O. ナットソン著 神崎正陳訳	1998	12P



国際ロータリー第2740地区の歴史

よもやま話 ～第3話～

ガバナー 福田金治

今回は、57RCが属している当地区の国内認証順や、年月日についてご紹介したいと思います。

国内の認証順は、RIの認証年月日が古い順に列記しており、認証日が同じクラブについては、

創立日が古いクラブを順位としては上にくるように並べております。

したがって、創立が早くても認証年月日が古い方を基準としていますのでご了承ください。

RI 第2740地区 クラブ認証順位一覧

	国内 認証順	クラブ名	創立年月日	認証年月日		国内 認証順	クラブ名	創立年月日	認証年月日
1	33	長崎	1936.10. 6	1950. 6. 9	30	1188	松浦	1973. 6. 30	1973. 8. 30
2	53	佐世保	1951. 2. 21	1951. 3. 30	31	1209	伊万里西	1974. 3. 9	1974. 4. 12
3	94	佐賀	1952.10. 8	1953. 2. 25	32	1212	長崎北東	1974. 4. 30	1974. 5. 22
4	194	唐津	1956.12. 1	1957. 3. 8	33	1263	福江中央	1975. 5. 6	1975. 5. 19
5	227	長崎北	1957. 6. 14	1957. 6. 28	34	1334	大村北	1976. 7. 14	1976. 7. 28
6	244	佐世保南	1958. 1. 10	1958. 2. 27	35	1348	牛津	1977. 2. 6	1977. 3. 18
7	312	佐賀西	1959. 5. 15	1959. 7. 25	36	1469	長崎みなと	1980. 1. 8	1980. 2. 18
8	352	大村	1960. 2. 23	1960. 3. 14	37	1570	白石	1983. 3. 9	1983. 4. 18
9	381	諫早	1960. 6. 17	1960. 6. 30	38	1616	佐世保北	1984. 4. 16	1984. 5. 14
10	427	平戸	1961. 3. 8	1961. 4. 26	39	1632	長崎西	1984.10. 2	1984.10. 9
11	461	伊万里	1961. 7. 27	1961. 9. 20	40	1645	諫早西	1985. 2. 20	1985. 3. 5
12	466	有田	1961. 6. 29	1961.11. 22	41	1671	多久	1985. 6. 11	1985. 6. 28
13	549	武雄	1963. 1. 12	1963. 5. 6	42	1673	佐賀南	1985. 6. 21	1985. 7. 10
14	596	島原	1964. 2. 1	1964. 3. 19	43	1714	神埼	1986. 5. 13	1986. 6. 10
15	604	福江	1964. 3. 12	1964. 5. 4	44	1766	島原南	1987. 5. 17	1987. 6. 22
16	680	唐津東	1965. 1. 26	1965. 6. 15	45	1895	諫早多良見	1990. 4. 17	1990. 5. 10
17	700	長崎南	1964. 9. 26	1965.10. 16	46	1912	長崎中央	1990. 6. 4	1990. 6. 21
18	703	鹿島	1965. 9. 7	1965.11. 10	47	1924	佐世保中央	1990. 9. 29	1990.10. 22
19	707	小城	1965.11. 10	1965.12. 10	48	2003	長崎琴海	1992. 3. 12	1992. 4. 3
20	788	佐世保東	1966.12. 23	1967. 4. 10	49	2010	佐世保東南	1992. 3. 19	1992. 5. 6
21	900	北松浦	1969. 1. 14	1969. 3. 3	50	2108	唐津中央	1994. 2. 18	1994. 3. 16
22	957	佐世保西	1969.10. 13	1969.11. 28	51	2110	佐賀大和	1994. 2. 22	1994. 3. 21
23	967	長崎東	1970. 1. 9	1970. 1. 23	52	2139	太良	1994.12. 22	1995. 1. 17
24	969	唐津西	1970. 1. 7	1970. 2. 2	53	2198	大村東	1996. 4. 22	1996. 5. 8
25	1003	雲仙	1970. 5. 7	1970. 5. 25	54	2209	HTB佐世保	1996. 7. 23	1996. 8. 7
26	1010	嬉野	1970. 5. 28	1970. 6. 10	55	2252	佐賀空港	1998. 4. 4	1998. 4. 29
27	1011	佐賀北	1970. 6. 1	1970. 6. 10	56	2262	長崎出島	1998. 9. 4	1998. 9. 30
28	1048	諫早北	1971. 1. 10	1971. 2. 2	57	2263	諫早南	1998. 9. 9	1998. 9. 30
29	1171	大町	1973. 5. 16	1973. 6. 7					

<参考文献>

- ・日本RC認証順位一覧 RI第2720地区1995年度PG 前岡志郎
- ・認証状から見た日本戦前史 RI第2720地区1995年度PG 前岡志郎

新会員紹介 ～3月入会～

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介します。



佐世保RC
じんのうち すみひで
陣内 純英 君
西海みずき信用組合
理事長



島原RC
さかい こうしん
酒井 康臣 君
株式会社
取締役

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会からの認証および表彰者リストに基づき寄付者をご紹介します。ご厚意に深く感謝申し上げます。

◆ロータリー財団 (3月)

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

氏 名	レベル	クラブ名
合瀬 一男	5	神 埼
瀬戸口智彦	4	長 崎 南
小濱 正美	3	長 崎 南
藤岡 士郎	2	長 崎 南
瀧本 好哉	2	長 崎 南
本田 圭助	2	長 崎 南
堀内 英俊	2	長 崎 南
伊藤 正彦	2	長 崎 南
川崎 孝	2	長 崎 南
川脇 輝也	2	長 崎 南
蔭本 恭	2	長 崎 南

氏 名	レベル	クラブ名
中牟田真一	2	長 崎 南
鈴木 一郎	2	長 崎 南
梅本 義信	2	長 崎 南
山崎 甫文	2	長 崎 南
藤井 勝也	1	長 崎 南
伊藤 年徳	1	長 崎 南
村山 清治	1	長 崎 南
岡村 康司	1	長 崎 南
鈴木 元	1	長 崎 南
山辺 滋	1	長 崎 南

逝去会員

謹んでご冥福をお祈り申し上げます



村上 寅雄 会員 (佐世保北RC)
逝去日：2019年3月2日 (享年92歳)
入会日：1984年4月16日
勤務先：村上内科病院 理事
クラブ役職：1983.4～1984.6 会長
1984～1985年度 会長

地区役職：1990～1991年度 第4分区代理
1991～1994年度 米山奨学委員
1994～1996年度 会員拡大・会員増強委員
1996～1997年度 会員拡大・会員増強委員長



益田 耕作 会員 (長崎RC)
逝去日：2019年3月27日 (享年87歳)
入会日：1970年3月12日
勤務先：石田エンジニアリング(株)
代表取締役社長
クラブ役職：1977～1978年度 幹事
1989～1990年度 会長

■ポール・ハリス・フェロー

氏 名	クラブ名
梶川 ゆり子	武 雄
中尾 中	武 雄
田中隆一郎	武 雄
山口 修代	武 雄
梶村 龍太	長 崎 南
諸熊 正文	長 崎 南
瀬戸 信二	長 崎 南

◆米山記念奨学会 (3月)

■メジャードナー

氏 名	回数	クラブ名
朝永 春郎	19	松 浦

■米山功労者マルチプル

氏 名	回数	クラブ名
福山 和彦	3	神 埼
西村 明美	2	神 埼

第2740地区 2019年3月出席報告

2018年7月1日クラブ数 57 RC
2019年3月平均出席率 81.8 %
2018年7月1日会員数 2,236 名
(うち女性会員 91 名)

2019年3月末日会員数 2,209 名
(うち女性会員 95 名)
2019年3月入会者 2 名
2019年3月退会者 37 名



ハワイ短期留学プログラムご報告 (3/25 ~ 4/5)

ハワイ短期留学委員会 委員長 池田 真秀

○出発式3/25

25日の出発式では大いなる期待を胸に、今春開校を前にした九州文化学園小学校・中学校に14名の高校生が集いました。橘高克和地区大会実行委員長との挨拶に始まり、朝長則男佐世保市長より激励のお言葉をいただき、最後に高校生を代表して、佐世保商業高校2年 大串理子さんより力強い決意表明をしてもらったのち、ご家族、ロータリアンが見守る中、福岡空港へ向け出発しました。

福岡空港までの車内や、乗り継ぎが5時間近くあったソウル仁川空港、そしてハワイへの機内においても生徒たちの興奮は収まることなく、ホノルル到着まで元気な様子でした。

○学校生活や一日の流れ

2日目からは早速学校が始まり、朝8時半に出発するスクールバスを見送るのが引率ロータリアンの日課でありました。学校でのプログラムは、午前は英会話を中心とした授業があり、午後からはハワイ・プランテーション・ビレッジや戦艦ミズーリ号見学、また裁判所での模擬裁判を経験するなど、学校以外の課外授業を通じて、英会話とアメリカの文化や生活を密に学べたのではないかと思います。

学校終了後はスクールバスで15~16時ごろホテルに戻り、各々のグループでハワイの美しい街並みを散策したり、事前に調べた場所へ路線バスを利用して行ってみたりと、仲間たちとの交流を深めている様子でした。また、毎日21時からミーティングを行い、各人の1日の報告や、ロータリアンから注意事項を伝達して翌日に備えていました。

○休日のアクティビティー

土曜日午後と日曜日は授業が休みでしたので、まず土曜の午後はホテル近くのアラモアナ・ビーチパークにてビーチバーベキューを行いました。手作りのハンバーガーやホットドッグ、ステーキやチキンを焼いて食べたり、海で遊んだり、また隣のテントで同じようにバーベキューをしていたハワイ在住の家族とビーチバレーをするなど、ローカルの方たちと積極的に交流する姿が見られました。

日曜日にはハワイで最も美しいビーチの一つと言われるカイルアに行きました。ここでは、高校生たちのハワイで一番したいこと1位の「パンケーキを食べたい」という願いを叶えるために、カ

イルアの超有名店「BOOTS & KIMO'S」でパンケーキをテイクアウトしてカイルア・ビーチに移動。美しいビーチを見ながらの食事は皆大興奮で、高校生のみならず引率したロータリアンにとっても、有意義な土・日を過ごすことができました。

○MINI EXPOの開催

翌日の4/1には学校内でMINI EXPOと称して、長崎や佐世保の物産品や文化を紹介する授業があり、折り紙や書道の披露、佐世保独楽の実演など、MINI EXPOを通じてハワイ大学の学生とコミュニケーションがとれたのは、素晴らしい体験でした。

○ファイナル プレゼンテーション

最終日の授業にはロータリアンも同席する中、ファイナルプレゼンテーションとして、二人1チームで今まで学んだことを英語で発表してくれました。どの生徒も素晴らしい内容で、10日間しかない中でしっかりとプレゼンテーションを作り上げた姿を見て、本当に感心した次第です。

○最後に

“グローバルに物事を考えることのできる人材の育成”を目的に本事業を募集しましたが、予想を超える80名という多くの応募をいただきました。その中から14名を選ぶのは大変心苦しかったですが、それだけに皆将来に対して明確なビジョンや目標があり、高校生とは思えないくらいしっかりした生徒たちばかりでした。そして、最初はぎこちなかった皆さんも、帰りには14名がまたこのメンバーでどこかに行きたいというほどの友情が芽生え、最後は泣きながら別れを惜しむ姿も見られました。

これからの将来を担う生徒たちにとって、今回の留学は一生忘れられない経験になったことは間違いなく、また、この経験をお手伝いできたことは、ロータリアンとしても本当に良かったと思える瞬間でした。

遠くハワイまで激励に来ていただきました福田ガバナーをはじめ多くのサポートをいただきました同行メンバー、様々な場面で応援、サポートいただいた方々、そして佐世保ロータリークラブの会員の皆様に感謝申し上げ、ハワイ短期留学プログラムのご報告とさせていただきます。

 ハワイ短期留学プログラム 現地での様子



アリイオラニ・ハレとカメハメハ大王像の前で



KCCにて



MINI EXPO(KCC校長)



カイルア・ビーチで昼食



ダイヤモンド・ヘッド頂上から



ビーチバーベキュー



レイ作り



ワイキキビーチにて



現地の方とビーチバレー後



ハワイ・プランテーション・ビレッジにて



ファイナルプレゼンテーション



ワイキキRCで福田ガバナーご挨拶



ワイキキRC訪問



授業の様子



戦艦ミズーリ記念館



模擬裁判の様子



ミーティングの様子



修了証書